

えみちゃんレポート No9

茨城県政報告



茨城県議会議員 設楽詠美子(しだらえみこ) 住所 筑西市二木成993
電話 24-9119
FAX 48-8022

春風がこちよ季節となりました。みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

私は5月21日にピアノで開催されたフラヴィオ・ヴァラーニさんのピアノのコンサートで司会をさせていただきました。音楽はいいですね。国境を超えて私たちに感動を与えてくれます。私も議員として、子どもたちや地域の皆様に感動と夢を与えられるような政治家になりたいと思います。



筑西ファミリーサポートセンターまんなかの説明会、大盛況！

ファミリーサポートセンターは、平成6年に厚生労働省が開始した事業で、子育てをお手伝いする協力会員とお手伝いしてもらう利用会員、その両方からなる両方会員で、地域で子育てをする仕組みです。

しかし、国の事業に採択されるには最低100人以上の会員が必要になります。そのため茨城県でも平成7年から、少人数でできるサポート事業をスタートしました。

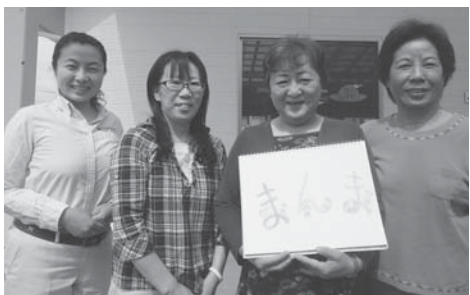
私が議員になり、ファミリーサポートセンターを筑西市で立ち上げようとしたときには、県内の多くの市町村でファミリーサポートセンターは立ち上がり、県での事業は終了してありました。

私たちに必要な事業は私たちの手で、たとえ予算がなくても！

地域の子育て団体に声をかけ、勉強会や県内視察をおこなったところ、ついに、筑西市でも箱守まり子会長のもと、「まんなか」が立ち上がり、50名もの参加者を迎え説明会が行われました。

協力会員は24時間の講習が必要です。5月30日よりはじまります。地域の皆様の協力をお待ちしています。

連絡先 080-8719-5788



平成24年に総務省は、母子世帯と高齢単身女性世帯の相対的貧困率が5割を超えていると発表しました。女性は結婚や出産、子育てを機に約6割の女性が離職し、その後、約1割しか正規職員になれません。女性が継続して働ける環境をつくるのが、貧困対策につながります。地域の皆様の協力が必要です。

第一回定例議会で質問しました！

地域医療再生のために中核病院が必要です！

Q1) 茨城県の地域医療再生計画の中で、筑西・下妻医療圏における新中核病院の建設が計画され5年目を迎えました。

筑西市民の多くが救急医療の担える中核病院が必要であると考えております。今後の対応についてお伺いします。



保健福祉部長) 新中核病院の整備に関しては、当初予定の筑西市民病院と県西総合病院の再編統合計画については合意に至りませんでした。茨城県は、公立2病院と協和中央病院の再編統合を提案したものの、地元自治体の最終的な意思決定が重要とし、今後の推移を見守りたいと考えております。



Q2) 公立2病院がダメなら3病院で、とするのではなく、あらゆる枠組みで病院を建設した場合のメリット、デメリットを検証し具体的な話し合いをするべきと考えますがいかがですか？

保健福祉部長) まずは地元の皆様で、どういう病院があるべき姿なのかご議論していただき、それに対して、我々も、その中身について十分検討し、ご支援できるものは支援していきたいと考えております。



地元医師会と連携して各地域で「地域医療を考える会」を開催しています。参加や開催のご希望がありましたら、お声かけください。

現状) 筑西市は、公立2病院の再編統合を公約に須藤新市長が誕生しました。桜川市は、公立2病院と協和中央病院の再編統合を主張しております。以上の状況から、筑西市が中心となり新中核病院建設研究会と建設推進会議を設立し、予算1800万円が筑西市議会の補正予算で可決し会議を開始する予定となっております。



私は、公立2病院の再編統合がベストと考えますが、この枠組みでの検討が5年目を迎えていることから、筑西市単独でも中核病院を建設する覚悟を持ちながら話し合いを進めてほしいと思っています。

また、茨城県の看護師不足(平成22年のデータでは、人口10万人対575.5人で全国44位です。)は医師と同様に深刻です。中核病院には看護師確保も大きな課題であり、看護師の多くは、結婚・出産・子育てを機に離職してしまいます。そのため、県では今年度から地域看護職員再就職等支援事業(総事業費52305千円)として、結城看護専門学校等に委託をして再就職の支援を行っております。また、地域の力で看護師が子育てしながら仕事ができる環境をつくることも大切です。どうぞ、よろしく申し上げます。

教育行政についても質問しました！

- Q 1) 英語教育の充実 (興味のある方は、ご連絡ください)
 Q 2) 命の教育の充実



いじめによる自殺の問題、少子化の問題、晩婚や性感染症等により不妊治療が増加している問題など、命を大切に思う気持ちを持つための、また、命をつないでいくための教育、性教育の充実は重要であると感じております。

実際の性感染症の状況としては、平成24年の厚生労働省の報告によると15歳～19歳で増え始め、20～24歳で感染率は2倍になります。このような状況からすると、性感染症の予防に関する知識の習得は十分ではありません。

専門医など外部講師による講演会に加え、同年代が気軽に学び合えるピアエデュケーションの取り組みや、保健福祉部との連携が必要であると考えますが、教育長にお伺いします。
教育長 議員ご指摘のクラミジアなどの感染症が高校卒業以降に多くなることを考えますと、高校生の段階で性感染症を予防するための知識の習得は重要です。以上を踏まえ、ピアエデュケーションの取り組みを広げるとともに、性感染症の情報や相談機関の一覧をホームページで紹介してまいります。また、医師会や保健福祉部との連携を一層強化し、将来における児童生徒の健全育成に努めてまいります。

通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会が 茨城県議会でスタート！

教育庁、警察、土木部が部局横断的に、通学路の安全確保のために調査をします。多くの声が寄せられております。

要望 1) どうしても横断歩道がほしい

→二木成の横断歩道が設置されました

要望 2) スピード30キロ規制してほしい

→布川の規制がはじまりました

要望 3) 歩道橋を設置してほしい

→県内の歩道橋の見直しを進めていただくように要望中

要望 4) 信号機を設置してほしい

→道路の拡幅ができれば設置予定となっております

要望 5) 押しボタンの信号機にしてほしい

→これから要望書を提出します

地域からの要望を提出することが大切です。必要とを感じる場所をお寄せください。お手伝いさせていただきます。



二木成の横断歩道

残念な茨城県、そして筑西市への予算は…

「地域ブランド調査 2004年」(ブランド総合研究所)の結果では、茨城県の魅力は46位、そして観光意欲度は47位と、最下位でした。

項目	2012年	2011年	2010年
魅力度	46位	47位	47位
認知度	21位	26位	30位
情報接触度	17位	14位	31位
観光意欲度	47位	47位	47位



ちっくんとお友達です♡

又、茨城県の企画部の地域振興に係る総予算に占める県西地域の割合はなかり低い状況が続いているように見受けられ、具体的な取り組みが見えてこない状況です。残念ながら、筑西市・桜川市・結城市に直接かかる予算は

ゼロと言わざるを得ません。今後魅力的なプランを立て予算確保を目指します！

今年は、板谷波山の没後50年を迎えることもあり、地域で知恵を出し合い日本中から茨城県筑西市にお越しいただけるように力を合わせて頑張りましょう！

お知らせ

旧下館市内の甲・乙・丙の町名に「下館」と通称町名を加える請願は、3月7日の総務企画委員会で採択されました。検討委員会を設けて、議論して最終案を決めることとなります。ご署名にご協力いただきました皆様に深く感謝いたします。

さて、茨城県では常陸大宮市と潮来市が甲・乙・丙を通称町名に変更しております。後日視察を予定しております。詳細は、永盛・山中(下館地区自治会)もしくは設楽までご連絡いただけましたら幸いです。

これからも、みなさまの声を聴かせください！



- 意見交換会や県政報告会を随時受け付けております。
- えみちゃんレポートをおいていただける方、お配りいただける方を募集しております。

設楽 詠美子

連絡先 **しだらえみこ事務所** 筑西市二木成993
Tel 0296-24-9119 Fax 0296-48-8022
 eshidara@peach.plala.or.jp
<http://www9.plala.or.jp/eshidara/>
 facebook 配信中 **しだらえみこ** で検索



娘の桃が描いた絵です。